

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2018～2019 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「凡事徹底」～友情と情熱と行動と～



インスピレーションになるう

◆会長 高原 清人 ◆幹事 岩本 正樹 ◆会報委員長 道下 利一 ◆会報担当 直井 泰司

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1194 回	55 名	54 名	45 名	—	83.33%
前々回 1192 回	55 名	54 名	41 名	8 名	90.74%

<点 鐘> 会長 高原 清人
<ロータリーソング> それでこそロータリー
<高山中央ロータリークラブ職業倫理基準>

<本日のゲスト>

国際ロータリー第 2630 地区

奉仕プロジェクト部門委員長

宮崎 弘夫 様

国際ロータリー第 2630 地区

奉仕プロジェクト部門・

国際奉仕小委員会委員長 篠原 一行 様

<本日のビジター>

美濃加茂ロータリークラブ

勝川 生年 様

高山西ロータリークラブ

内田 幸洋 様

〃 門前 庄次郎 様

〃 田中 正躬 様

〃 田邊 淳 様

〃 塚本 直人 様

〃 田中 晶洋 様

〃 萱垣 敬慈 様

〃 長瀬 達三 様

<会長の時間>

会長 高原 清人

皆さんこんにちは。

いよいよ雪も降り師走らしい景色となってきました。後 2 週間で平成 30 年も終わろうとしておりますが、私は毎日が慌しく感傷に浸る時間は有りませんが皆さんはいかがでしょうか。

本日は伊藤委員長を始めとする、国際奉仕委員会の担当例会であります。先ほどご紹介させていただきました宮崎様、篠原様を講師としてお迎えし、「グローバル補助金について」と題し卓話をいただきます。

先日厳選された 5 名の皆様にミャンマーのヤンゴン中央 RC を訪問し、親睦を深めて来て頂きました。そのような所で今回の例会はまさにタイムリーな流れと言わざるを得ませんが、年間計画を練る時点では想像すらしていませんでした。交流したからと言って、いきなりグローバル補助金事業と言う訳にもいきませんが、今例会は、近い将

来事業実現に向けての勉強会と捉えていただきたいと思います。

さて国際奉仕は五大奉仕部門の第 4 奉仕部門で、国際理解、親善、平和を推進するために実施する全ての活動を言います。初期のロータリーには今日の人道的奉仕活動を主体とした国際奉仕の概念はありませんでした。

しかし、第一次大戦中の 1917 年頃より米国やカナダ、ヨーロッパのロータリークラブが各地の避難民や傷病兵、復員してくる軍人に対するボランティア活動や物資援助を行うなど歴史的背景を受けて、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」という国際奉仕の概念が、1922 年に綱領の第 6 項目として正式に明文化されました。現在ロータリーの目的の第 4 号となっており「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」と文言も少し変化しましたが、ロータリークラブの活動の哲学的及び実践的な基準の大切な柱の一つであります。

と言う訳で、少し短いですがお二方の卓話の時間を充分にとりたいと思いますので、以上で会長の時間といたします。

<幹事報告>

幹事 岩本 正樹

◎国際ロータリー第 2630 地区直前ガバナーより

・2017-2018 年度地区記録誌

○高山ロータリークラブより

・例会変更のお知らせ

1 月 3 日 (木) 休会 定款により

1 月 10 日 (木) → 9 日 (水) 17:30～

新年例会 洲さき

1 月 31 日 (木) 休会 定款により

<国際奉仕委員会>

委員長 伊藤 正隆



<卓 話>

～グローバル補助金について～

国際ロータリー第 2630 地区
奉仕プロジェクト部門委員長宮崎 弘夫 様
(鈴鹿ベイRC)

私たちはこれまでタイ国の 2 か所の地区とグローバル補助金事業を行ってまいりました。10 月の当地区大会には第 3330 地区からパストガバナーとロータリーアンである奥様、そして地区代表幹事の方が自ら望んで第 2630 地区の地区大会に出席されました。



地区大会の合間を縫って話し合いした中で何より嬉しかったのは、相手地区パストガバナーが新しいプロジェクトを提案してきたことです。これは第 2630 地区と第 3330 地区が相互に信頼できる関係になった瞬間だと感じました。

私たちは今後益々支援を必要とする国々から頼りに、また信頼されるよう、地区内クラブに働きかけたいと思います。高山中央ロータリークラブ様



が行う今回のグローバル補助金活動が成功裏に終わり、尚も益々それぞれの会員様が奉仕、即ち人や地域への愛がことを祈念いたします。

奉仕プロジェクト部門

国際奉仕小委員会委員長 篠原 一行 様
(多治見リバーサイドRC)

● グローバル補助金活用へのお勧め

本日はお招きありがとうございます。今回は我々が培ってきたグローバル補助金についてお勧めができることをたいへん嬉しく思います。

2010 年から始まった「ロータリー財団の未来の夢計画」が終わり、2013 年から全世界で現在の補助金制度が始まったことは皆様よくご存じの事と思います。それ以後、当地区の地区補助金活用に関しては、各クラブが活発に利用するようになってきましたが、グローバル補助金活用に関しては 4 年前の 1 例後、この第 2630 地区からグローバル補助金を利用した海外支援活動は行われてきませんでした。実践されなかった要因としての基本的な部分、また詳細な部分について、その理由を考えてみました。



私たち地区奉仕プロジェクト部門・国際奉仕小委員会は、一つに各クラブがもっと世界に良いことをしていただくために、そして二つ目に各クラブに、このグローバル補助金制度の利用を解りやすく勧められるために、地区国際奉仕委員会が実践を重ねることが最も大切であると理解いたしました。

私たち地区国際奉仕委員会は、グローバル補助金事業を活発に行っている他地区のパストガバナーや財団委員長との交流を幾度となく重ね、実施する内容や支援を要望する相手国の選び方などをご教示いただきました。海外の地区あるいはクラブと交流を重ねれば、こちらの誠意や相手の

本気度をもって、自然とお互いに信頼し合えるということです。即ち我々が提唱しなくても、支援を待つ相手から多くの要望が舞い込み、さらに引き出しが多くなるということになります。それに伴い最も大切にしなければならないと感じたことは、支援国と実施国のロータリアン同士の信頼関係の構築であることでした。

私たちの支援を待ち望む複数の国々・現地へ赴き、支援内容の調査を行い、また選んだ相手地区の地区大会にもパストガバナー共々と出席して交流を深め、グローバル補助金事業を進めてまいりました。地区内各クラブが、今後何の障害・ストレスもなくグローバル補助金活用ができるよう、私たちが行ってきた事例を二つ、紹介したいと思います。まず第 1 に、タイ国第 3330 地区との共同プロジェクト事業です。この事業の特徴としては、今後、この地区がグローバル補助金を活用して、積極的に海外支援を行っていき、国際奉仕委員会が勉強するために地区活動資金いわゆる DDF だけで行いました。私たちにとって初めてのグローバル補助金を活用した海外支援は、地区内の田舎の小学校 3 校への水の浄化設備事業です。総予算は、ロータリー財団本部からグローバルグラントが適用される下限の 30,500 ドル 350 万円位です。

第 2 に、現在進めて完成も近いグローバル補助金事業は、同じタイ国第 3350 地区との共同プロジェクト、基本的教育と識字率向上プロジェクト事業です。タイ国内全土の田舎の小学校 88 校に、識字図書等の教材支援事業、そして識字を指導する教員指導プログラム事業です。総予算は 980 万円位です。

今回の事業方法の大きな特徴として、第 2630 地区内の 3 つのクラブ、多治見リバーサイドロータリークラブ、美濃加茂ロータリークラブ、そして鈴鹿ベイロータリークラブがそれぞれ 1,000 ドルの資金を出しあって行った共同体ではありますが、クラブ主体の事業であるということです。グローバル補助金を利用した事業は必ず複数年度にまたがります。クラブは長期戦略計画として取り組んで頂き、ぜひプライマリーコンタクト・主導者として相手国からの要望に対し、計画の段階から実際に現地へも足を運んで自らの目で確認し、相手国が作成した計画書にご自身で署名されることを望みます。そして完成式典にも出席して、現地の方々が私たちの支援とプロジェクトの完成に心から喜んで頂いている姿をみて感動してください。

相手国または財団本部との交信は全て英語です。しかしご安心ください。グーグル翻訳を最大限利用したお陰で、相手国とコンタクトを取り合えるようになりました。重ねますが、お互いプライマリーコンタクトとして一番大切な事は、相手国とのコミュニケーションの緊密さです。

相手国?・・・「そんな信用できる相手国や相手国クラブをどうやって探すの?」と、ここで躊躇されるクラブが多いと思います。多分、クラブがグローバルグラントに踏み込めない最大の理由はここにあるかと思っています。ご安心ください。国際奉仕委員会がこれまでに行ってきた相手国との相互交流等で、皆様に信頼できる相手クラブを紹介できるまでになりました。

私たちは現地への調査訪問を通して、グローバル補助金事業の素晴らしさを改めて感じました。相手クラブと一緒にあって共に未来のために苦勞して事業を進めること、そして現地の方々が心から待ち望む姿にとっても感動いたしました。国際奉仕活動をしてちょっとだけ良い気分になること、色々な人に出会うこと、色々な人々と語り合うこと、そして皆で旅行を楽しむことなど、とても意義があると思います。世界には私たちの支援を待っている人たちが大勢います。皆さんの愛情を世界に発信してください。地区国際奉仕がお手伝いいたします。

<ニコニコBOX>

本日はよろしくお願ひ致します。

R I 第 2630 地区 奉仕プロジェクト部門委員長
宮崎 弘夫 様
(鈴鹿ベイRC)

本日は卓話にお招きいただきありがとうございます。よろしくお願ひ致します。

R I 第 2630 地区 奉仕プロジェクト部門
国際奉仕小委員会委員長 篠原 一行 様
(多治見リバーサイドRC)

昨晩は楽しい高山の夜をありがとうございます。

美濃加茂RC 勝川 生年 様

去る 10 月 28 日 IMには多数の会員の方々のご出席ありがとうございました。お陰様に盛大に終了する事が出来ました。

高山西RC 内田 幸洋 様

本日は高山西RC8名で参加させていただきます。元気で活気に満ちあふれる高山中央RC様の例会を学び、当クラブも更に向上できるようにしたいです。本日はよろしくお願ひ致します。

高山西RC 内田 幸洋 様 門前 庄次郎 様
田中 正躬 様 田邊 淳 様
塚本 直人 様 田中 晶洋 様
萱垣 敬慈 様 長瀬 達三 様

宮崎様・篠原様 本日は遠い所おいで頂きありがとうございます。グローバル補助金について卓話をよろしくお願ひ致します。また、高山西RCの皆様のご来訪を歓迎致します。本日はよろしくお願ひ致します。 **理事役員一同**

R I 第 2630 地区 奉仕プロジェクト部門委員長 宮崎弘夫様・国際奉仕小委員会委員長 篠原一行様、本日はご苦労様です。宮崎さんの元気な顔を見て安心しました。ガバナー補佐内田様、高山西RCの皆様、美濃加茂RC 勝川様のご来訪を歓迎致します。 **松之木 映一**

R I 第 2630 地区奉仕プロジェクト部門委員長 宮崎弘夫様・国際奉仕小委員会委員長 篠原一行様 委員の勝川生年様のご来訪を歓迎致します。卓話をよろしくお願ひ致します。

劔田 廣喜 伊藤 正隆 山本 辰男 清水 幸平

本日はたくさんのゲストがみえる中、大変言いにくいのですが早退させていただきます。すいません。

小出 貴博 下田 徳彦